

# 琉球弧の祭祀と行事【三】

沖縄本島と周辺離島編 写真・文／木原盛夫



## 琉球弧の祭祀と行事【三】

沖縄本島と周辺離島編 写真・文／木原盛夫

## CONTENTS

久米島の五月ウマチー・・・3P

粟国島のヤガンウユミ・・・12P

エイサー・・・38P

\*エイサーinいとまん

\*浦添てだこまつり前夜祭

\*一万人エイサー踊り隊

\*北中城青年エイサー

\*お店の周年祝い

首里赤田のみるくウンケー・・・52P

安田のシスグ・・・61P

塩屋のウンガミ・・・82P

久高島の八月マティー・・・103P



【久米島の五月ウマチー】 2014年6月12日  
撮影

旧暦5月15日に行なわれる五月ウマチー（初穂祭）は、稲の初穂を各拝所に供え、農作物の豊作を祈る。この豊作祈願は久米島の中でもいくつかの字で行なわれるようだが、君南風殿内（ちんべーどんち）のある仲地集落のウマチーを見せていただいた。君南風（ちんべー）は琉球王国の神女組織の一人で、久米島のノロを統括する高級神女。

上の写真は、君南風殿内。



8時半を過ぎて集落の神人が殿に集合し、君南風が白の神衣に着替えて9時から御願が始まった。儀式の間、小さなテープレコーダーからおもろ（古代の歌謡）が流れていた。今ではおもろを謳える方がほとんどいないという。

5Pの右、白の神衣が君南風（ちんべー）。





6Pは、君南風殿内での御願が終わり、100mほど離れた仲地集落のローカーヤーへ移動する神人。7Pは、ローカーヤーでの御願。ローカーヤーは草で屋根を葺いた簡易な小屋で、神事の際に建てられる。8Pは、仲地から車で山里集落のローカーヤーへ移動した神人。



9Pは、山里集落のローカーヤーで御願する神人。10、11Pは、真謝集落で開催された稲穂祭の角力大会。五穀豊穣を祈願する奉納角力が行なわれた。





【粟国島のヤガンウユミ】 2013年8月1日、  
2日撮影

旧暦6月24日～26日まで3日間続く祭祀。

島の北部にあるヤガン御嶽から集落内に神を迎え、シマンチュの健康と豊作豊漁を願う。

初日は、日没直後にタレーラ・ムイと呼ばれる場所に神人が横一列に座して、神を迎える。

上の写真は、前日に神迎えが行なわれたタレーラ・ムイ。祭祀の2日目である8月1日に撮影。







13P上は、スル殿内でカーブイ（草冠）を作るスル座の神女。13P下は、ントググ大屋でカーブイを作るスイミチ座の神女。14Pは製作中のカーブイ。使われる葉っぱは、イタジイ。



2日目は、翌日から始まる本祭のための祭場開きと考えられている。エーウフナカと呼ばれる祭場に神女が集まり、クニ火神、今帰仁祠、ナー（庭）への御願が行なわれる。





15Pは、クニ火神（ヒヌカン）への御願。17P上は、今婦仁祠への御願。17P下と18Pは、ナー（庭）への御願。  
19P上は、祈願の後、シマの代表者から労いの接待を受ける神人。19P下は、神事に使われるミキ（神酒）と干魚（パーイ）。





祭祀3日目は、午前10時から朝フララ、午後1時からトゥン巡り、午後4時から夕フララといった神事が催され、祭場に集まったシマンチュ（島人）の健康祈願が行なわれる。

朝7時から、神事で使われるミキ（神酒）作りが行なわれると聞いて見に行った。

粟国島のミキは、炊いたご飯と米麴を一ヶ月程ボリバケツに入れて発酵させ、それをミキサーにかけ、水を加えて粘度を調整する。20、21Pは、ミキの製作過程。完成したミキは容器に入れられ、魔除けのシバサシ（ススキ）が置かれる。





22Pは、エーウフナカ（祭場）の隅で干魚を焼いているところ。23P上は、祭場に向かうスイミチ座の神女、下はヌル座の神女。24Pはビニール袋に入れた干魚を、祭場の柱に紐で括り付けるヤトウイ（雑役係）。これは、彷徨っている餓鬼に供えたものだという。





朝フララでは、巻物に書かれたお願いごとを神女に伝えるウンスキグトゥという儀式があり、その後ウネージャクが行なわれる。

ウンスキグトゥの大意は、「首里王の祭祀開催の許可があり、村役人の指示のもと、神酒、干魚を用意しましたので、シマ中の畑が豊作になり、王府への納税も果たせ、漁業も豊漁であるように願って下さい」ということのようなのだ。ウンスキグトゥはスル座、スイミチ座の両方で行なわれる。25Pは、スイミチ座でのウンスキグトゥ。この儀式の間、ヤトゥイ2人が干魚を入れた高膳を持って立っている。





26P上は、スイミチ座でのウネージャク。神女が神酒の膳を捧げ持ちながら左右にゆっくり動かし、ウネージャクを謳う。ウネージャクの大意は「長寿できる尊い神酒をどうぞ」とある。下は参拝者へのウネージャク。27Pは、祭場となっているエーウフナカ。







28、29Pは朝フララの後のトゥン巡り（殿マーイ）。アストヌ殿、ガーチヌ殿、バパス殿、トゥマンヌ殿、テーガー、アダンヌ殿を巡って御願が行なわれた。

30Pは、トゥン巡りを終えてスル殿内で休憩する神女。



3IPは、午後4時からのタフアラ。写真は、ヌル座でのウンスキグトゥ。タフアラでは、ウンスキグトゥ、ウネージャクの後立ちウムイが行なわれる。ヌル座の神女がスイミチ座の前まで来てウムイを謳う。それに誘われるようにスイミチ座の神女も前に出て、謳い踊る。



32、33Pは立ちウムの様子。お互いに向かいあって踊り、チーグ座に移動する。

34Pは、チーグ座でのウンヌキグトゥ。ヌル座とスイミチ座の神女が並んで座る。

35Pは、チーグ座での神事後、ヤガン御嶽に向かって御願をする神女たち。



36Pは、今婦仁祠での御願。祠の横に神女がカーブイを静かに置いて、神事は終了した。神事後、祭祀の初日に神迎えをしたタレーラ・ムイの横で、奉納角力が行なわれた。



and more...